

作者について

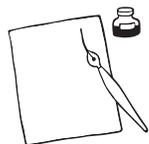


新美^{にいみ}南吉^{なんきち}(一九二三—一九四三)

新美南吉さんは、愛知^{あいち}県生まれの児童^じ文学者です。小学校や高等女学校の先生などをしながら、たくさん童話や童謡^{よう}を書きました。

作品には人のよろこびや悲しみ、思いやりの心などがえがかれ、多くの人に読みつがれています。病気のため、二十九さいというわかさでなくなりました。

他の作品



他の作品には、『でんでんむしのかなしみ』(かみやしん／絵、大日本^{だいにっぽん}図書)、『狐^{きつね}』(長野^{ながの}ヒデ子^こ／絵、偕^{かい}成社^{せい})、『花のき村と盗人^{ぬす}たち』(さいとうよしみ／絵、小学館)などがあります。

